

令和3年度 こどもみらい科 3年

教育課程表

授業計画

学校法人 実教学園

**F■C** フチガミ医療福祉専門学校

## こどもみらい科 3年

令和3年度

科目名	時間数	単位数
英会話 I	32	2
子ども家庭支援論	30	2
保育・教職実践演習	32	2
保育実習 I (施設)	80	2
乳児保育 I	30	2
乳児保育 II	16	1
子どもの健康と安全	16	1
保育実習事前事後指導 II ※選択必修	[10]	[1]
保育実習 II (保育所) ※選択必修	[80]	[2]
保育実習事前事後指導 III ※選択必修	[10]	[1]
保育実習 III (施設) ※選択必修	[80]	[2]
保育の心理学	30	2
ピアノ演習 III	15	1
キャリア形成 III	60	4
就職指導	30	1
実習指導②	20	1
保育士インターンシップ実習	80	2
就職指導 II ※選択必修	[90]	[3]
必修科目 計	471	23
選択必修科目 計	90	3
合 計	561	26

※保育実習 II・実習指導 II、保育実習 III・実習指導 III、就職指導 II のいずれかを必ず選択すること

科目名	英会話	担当者	松添 宏彦	クラス	期別
				3NT	通年

### 1. 教育目標

- テキスト (Happy English for Childcare) の内容の理解と職場で最低必要な英語力の習得。
- 英語による自己表現の習得。
- 英語を好きになり、自身のコミュニケーション力の向上。

### 2. 授業内容

- 通常授業では、テキストを主体に授業を進める。
- スクーリングでは、①英語読み聞かせ、②英語歌唱&振付、③自由な自己紹介を徹底。

### 3. 授業計画

1	Pre-unit/Please speak more slowly. Unit 1/Hi, I'm Yuri Tanaka.
2	Unit 2/Where is the multi-purpose room? Unit 3/Good morning, how are you today?
3	Unit 4/What color do you like? Unit 5/There's a ladybug on the leaf.
4	Unit 6/It's time to play outside. Unit 7/She is allergic to eggs.
5	Unit 8/You should go to the bathroom. Unit 9/We made masks today.
6	Unit 10/If it rains, what happens? Unit 11/What shall we do today?
7	Unit 12/I feel feverish. Unit 13/This is Yuri from cosmos... Unit 14/Thank you very...
8	Schooling 1 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
9	Schooling 2 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
10	Schooling 3 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
11	Schooling 4 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
12	Schooling 5 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
13	Schooling 6 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
14	Schooling 7 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
15	Schooling 8 Reading "Peach boy" or "Bamboo princes" & Singing "Twinkle, twinkle, little star"
16	Term end examination (期末試験)

### 4. 評価方法

- 筆記試験

### 5. テキスト及び参考書

- Happy English for Childcare (保育のための基礎英語) 金星堂

### 6. 実務経験の有無

- あり ( 経歴 : ECC外語学院英会話講師、佐賀県国際文化交流シンポジウム通訳 )

### 7. その他

- 常に学生のモチベーション向上を図り、記憶 (思い出) に残るクラスを体現する。

科目名	子ども家庭支援論	担当者	池田 淳一	クラス	期別
				3NT	前期

### 1. 教育目標

子どもが最初に所属する集団であり、社会でもあるのが家庭です。現代の家庭を取り巻く社会環境はさまざまな問題を抱えています。そのため、保育所の持つ「家庭支援」「子育て支援」が重要な社会的役割を持ちます。乳幼児、親を含めた家族全体が、保育士の関わる保育の対象であることを理解する必要があります。これらの支援は保育所に通所する子どもの保護者だけでなく、在宅の親やその子どもについてもまた、必要とされています。

本授業ではそれぞれの家庭のニーズに応じた家庭福祉を図るためのさまざまな援助活動や関係機関との連携を理解するために、その基礎知識と援助の方法を身に付けていきます。

### 2. 授業内容

授業計画は下記のとおりです。原則として授業の内容は、①前回の復習②講義③課題（または演習）④まとめ、という流れで行います。理解を進めていくために、さまざまツールを使いながら、授業を展開していきます。

### 3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	子ども家庭支援の意義と必要性／目的と機能
3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源
5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
6	子どもの育ちの喜びの共有
7	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援
8	保育士に求められる基本的態度
9	家庭の状況に応じた支援
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力
11	子ども家庭支援の内容と対象
12	保育所等を利用する子どもの家庭への支援
13	地域の子育て家庭への支援
14	要保護児童およびその家庭に対する支援／子育て支援に関する課題と展望
15	まとめ

### 4. 評価方法

筆記試験 70点

平常点（出席・授業態度・授業成果物） 30点

### 5. テキスト及び参考書

松原康雄・村田典子・南野奈津子編 子ども家庭支援論 新・基本保育シリーズ 中央法規 2016

### 6. その他

科目名	保育・教職実践演習	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

自らの学びを振り返り、保育士、幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。  
 保育士、幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得する。  
 保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解する。

### 2. 授業内容

3年間の学習と実習の成果を振り返りながら、保育士、幼稚園教諭に求められる資質と能力の習得を確認する。従って、学生自身が必要に応じて自己の資質と能力の向上に努めることができるよう、発表・議論・ロールプレイ、模擬保育などを組み合わせて行う。

### 3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	乳幼児・児童についての理解
3	教科・教育課程・保育課程に関する基礎知識・技能
4	テーマ決定、テーマ研究
5	テーマ研究
6	テーマ研究
7	テーマ研究（中間発表）
8	テーマ研究
9	発表準備
10	研究発表
11	研究発表
12	研究発表
13	発表準備
14	研究発表
15	研究発表
16	研究発表

### 4. 評価方法

授業への積極的参加（30%）                      発表（70%）

### 5. テキスト及び参考書

近畿大学九州短期大学 「保育・教職実践演習」

### 6. 実務経験の有無

- あり   （ 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 ）  
 （ 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 ）

科目名	保育実習Ⅰ（施設）	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる。

実践を通して、保育の技術、能力を向上させる。

自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。

### 2. 授業内容

「保育実習Ⅰ（施設）」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設（保育所以外）で行う実習である。乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設などの養護施設と障害児入所施設、児童発達支援センターなどの障害施設で実習を行う。それぞれ10日間の実習で次の内容を体験的に学ぶ。

- ① 施設における1日の流れ
- ② 児童や障害の理解を深める
- ③ 施設保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ
- ④ 施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ
- ⑤ 保育士を志すものとして自觉を高める

### 3. 授業計画

1	施設の概要と機能の理解
2	幼児、児童の生活の観察と参加（児童の生活の流れの理解）
3	ハウス・キーピングへの参加（職員の仕事の把握）
4	業務引継ぎ、打ち合わせなどへの参加（業務の引継ぎや連絡事項などの理解）
5	幼児、児童の生活援助 （担当児童の把握、児童と職員の関係と援助技術の学習、個別援助や集団援助の理解）
6	ケース説明（児童の家庭的背景と生活史などの理解）
7	行事への参加（多面的活動の理解）
8	日誌の書き方

※ 担当保育者の指導や助言に従い、積極的に施設実習に参加すること

### 4. 評価方法

実習指導者による評価（実習評価表）を参考に、実習日誌の内容や巡回訪問時の実習状況、出席状況を加味して全体評価を行う。

### 5. テキスト及び参考書

「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」石橋裕子・林幸範著（同文書院）  
実習前調べ学習資料 実習の手引き

### 6. 実務経験の有無

- あり（資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許）  
（実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設）

科目名	乳児保育Ⅰ	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

乳児とは、一般には1歳未満児を意味するが、3歳未満児と3歳以上児では、発達特性、保育内容・方法も大きく異なる。この科目では、0～2歳児の成長・発達の特徴と課題を理解し、保育の理念と役割を把握し、乳児を担当する保育士として必要な原理および知識・技術を理解する。

社会環境の変化に伴い、養育者や家族、地域を対象とした「子育て支援」や他機関との連携の必要性も学ぶ。

### 2. 授業内容

乳児保育の理念と歴史的変遷および役割等について学び、乳児保育の現状と課題について理解する。

3歳未満児の保育・発達について学び、生活と遊びについて理解する。

乳児の保育計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成や観察、記録などについて学ぶ。

乳児保育における保護者や関係機関との連携について学ぶ。

### 3. 授業計画

1	乳児保育とは何か。乳児保育の重要性。乳児の成長・発達。
2	新生児期の発達
3	1か月～6か月未満児の発達と保育内容
4	6か月～1歳3か月未満児の発達と保育内容
5	1歳3か月～2歳未満児の発達と保育内容
6	2歳児の発達と保育内容
7	0歳児の遊び
8	1歳児の遊び
9	2歳児の遊び
10	乳児保育における安全管理について
11	保育計画の概要、保育記録と評価
12	家庭連絡の方法、地域社会と保育
13	グループ学習：親と保育者のロールプレイ
14	乳児保育の課題、保育士のあり方
15	試験

### 4. 評価方法

授業態度、授業の取り組み (30%)

期末試験 (70%)

### 5. テキスト及び参考書

「はじめて学ぶ乳児保育」 志村聡子編著 (同分書院)

### 6. 実務経験の有無

- あり ( 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 )  
( 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 )

科目名	乳児保育Ⅱ	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

乳児期の子どもの姿を理解し保育できるように、子どもの成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につける。

### 2. 授業内容

乳児保育Ⅰで学んだ乳児の発達を復習した上で、乳児期の子どもへの対応や保育者としての基本姿勢を学ぶ。

乳児院や保育所実習で実践する手遊び、絵本読みを行う。ペープサートや感触を楽しむ遊びなどの製作を行い、発表する。

### 3. 授業計画

1	乳児保育における基本的知識と援助
2	乳児期の発達
3	絵本読み、手遊び発表
4	教材製作
5	教材製作
6	教材製作
7	発表
8	発表

### 4. 評価方法

授業態度、授業の取り組み (30%)

絵本読み、手遊び、発表 (70%)

### 5. テキスト及び参考書

「はじめて学ぶ乳児保育」 志村聡子編著 (同分書院)

### 6. 実務経験の有無

- あり ( 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 )  
( 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 )



科目名	子どもの保健Ⅱ	担当者	青木	クラス	期別
				3NT	通年

#### 1、教育目標

保育者として、乳幼児の健康状態の把握、および観察力を習得する  
 異常症状の把握の仕方、観察ポイント、応急処置を習得する  
 事故防止と安全教育について理解させる  
 保育士としての専門職への意識を高める

#### 2、授業内容

手洗いやうがいの仕方、歯磨き法、マスクの使い方、沐浴、救急処置、  
 三角巾や包帯を使った応急処置の実際  
 保健たより作成

#### 3、授業計画

1：オリエンテーション 健康観察
2：健康づくり 清潔（手洗いとうがい）正しい歯磨き法 マスクの使い方
3：健康づくり 清潔（沐浴とその実技）
4：健康づくり 消毒法 温罨法 冷罨法
5：救急処置
6：応急処置（包帯法）
7：保健たより作成①
8：保健たより作成② 発表

#### 4、評価方法

出席点70点、レポートおよび授業態度30点、

#### 5、テキストおよび参考書

特になし、プリント配布

#### 6、その他

科目名	保育実習事前事後指導Ⅱ	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

「保育実習事前事後指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ（保育所）」、またその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深める。

保育指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。

保育士として自己の課題を明確化する。

### 2. 授業内容

「保育実習Ⅰ（保育）」での自己評価と課題・今後の学習目標について再度認識する。それに基づき、具体的な内容を通して、実習計画作成、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。さらに、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、「保育実習Ⅱ」の終了後には、自己評価と保育士としての自己課題について考察する。

### 3. 授業計画

1	保育実習Ⅱの目的・意義について
2	保育実習Ⅱに向けた、各自の実習目的、課題、学習計画の作成
3	教材研究・指導計画の作成、保育実習シミュレーション準備
4	保育実習シミュレーション準備、設定保育シミュレーション発表
5	設定保育シミュレーション発表

### 4. 評価方法

- ① 授業への積極的参加（30%）
- ② 「保育実習Ⅱ」に向けた各自の実習目的、課題、学習計画（20%）
- ③ シミュレーション発表（30%）
- ④ 「保育実習Ⅱ」終了後の実習課題レポート（20%）

### 5. テキスト及び参考書

「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」 林幸範、石橋裕子著（同文書院）

「保育所保育指針解説書」 厚生労働省

「幼稚園教育要領解説」 文部科学省

### 6. 実務経験の有無

- あり （ 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 ）  
（ 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 ）

科目名	保育実習Ⅱ（保育所）	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基盤として、保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。

子育て支援をするために必要な知識、技術とニーズに対する理解力、判断力を養うことができる。

### 2. 授業内容

「保育実習Ⅱ」では、前回の保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。

「保育実習Ⅱ」を履修するためには、「保育実習Ⅰ」を終えておかなければならない。

### 3. 授業計画

1	子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開
2	その場の状況に応じた子どもへの対応と保育についての理解
3	問題ある子どもや保護者に対する対応についての理解
4	延長保育、休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解
5	保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等の実践と理解（部分実習、全日実習）
6	保育士としての自己の課題を明確化

※ 積極的に部分実習、絵本読み、ピアノ等をお願いし、実践力を養うよう努めること

### 4. 評価方法

実習指導者による評価（実習成績表）を参考に、実習日誌の内容や巡回訪問時の実習状況、出席状況を加味して全体評価を行う。

### 5. テキスト及び参考書

「保育所保育指針解説書」厚生労働省

「幼稚園教育要領解説」文部科学省

「幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド」林幸範、石橋裕子著（同文書院）

### 6. 実務経験の有無

- あり （ 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 ）  
（ 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 ）

科目名	保育の心理学	担当者	蓮井 栄二	クラス	期別
				3NT	前・後期

### 1. 教育目標

- 保育者として乳幼児期の子どもを理解する上で「生涯発達」の視点はとても重要である。人間が成長していく上で、その身体的な側面や知的側面、社会的、情動的側面が、出生から青年期に至るまでどのように変化していくかを学ぶ
- 後半では児童期以降の生活について学ぶ

### 2. 授業内容

- 配布プリントを中心に心理学について学ぶ
- 授業内容に関連する資料等を確認し、理解を深める

### 3. 授業計画

1	「心理学」とは、過去の授業の復習	9	児童期の発達
2	発達についての理論	10	青年期の発達
3	胎児期の発達	11	成人期の生活
4	乳児期の発達	12	高齢期の生活
5	幼児期の発達 1	13	現代社会と発達
6	幼児期の発達 2	14	まとめ
7	幼児期の発達 3	15	試験
8	幼児期の発達 4		

### 4. 評価方法

- 試験 : 70点
- 出席、授業態度 : 30点

### 5. テキスト及び参考書

- テキスト：宮原和子、宮原英種『保育の心理学』近畿大学九州短期大学
- 参考文献：授業中に紹介  
 手にとるように発達心理学がわかる本 かんき出版（2009） 小野寺敦子著  
 史上最強図解よくわかる発達心理学 ナツメ社（2010） 林洋一監修

### 6. 実務経験の有無

- あり （資格・職種 : ）

### 7. その他

- なし

科目名	ピアノ演習Ⅲ	担当者	有馬 あゆみ	クラス	期別
				3NT	前期

#### 1. 教育目標

幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得、  
及び資質の向上を目指して学習する

#### 2. 授業内容

一人ひとりのレベルに合わせたピアノレッスン  
童謡の弾き歌いを目標に、ピアノ演奏法を基礎から身につける

#### 3. 授業計画

1～7	実習及び保育現場で必須の童謡を中心とし、個々に研鑽を積む
-----	------------------------------

#### 4. 評価方法

- ・レッスンの受講姿勢
- ・毎回課題曲を1人ずつ演奏する
- ・試験当日課題を1人ずつ演奏する

#### 5. テキスト及び参考書

- ・近畿大学テキスト（音楽ピアノ教本）
- ・その他  
自身に合った子どもの歌やピアノ教本、またお気に入りの曲を選び演奏してみることをお勧めします。

科 目 名	キャリア形成Ⅲ	担 当 者	山下 和子	ク ラ ス	期 別
				3NT	通 年

### 1. 教育目標

- 働くことの意義や目的を理解し、今後のキャリアを考えることができるようになる。
- 自己実現に向け、保育者に必要な資質能力を認識し、それらを獲得していく行動を自律的に行うことができる。

### 2. 授業計画

	内 容
1	オリエンテーション
2	『働く』ことを考える (働くことの意義・目的)
3	社会人基礎力
4	ライフキャリアレインボー
5	社会の動向を知る (少子高齢化、労働環境、ワークライフバランス)
6～8	自己理解を深める (YG性格検査・内田クレペリン検査・自分の強み)
9	感性を磨こう① 観劇会の意義、視点
10～12	感性を磨こう② 観劇会
13	進路選択に向けた目標設定
14	給与の仕組みと税金、社会保険
15	労働法について
16～18	基礎学力を高める① (漢字、計算、時事問題)
19	グループワーク クリスマス会 計画
20～23	グループワーク // 準備
24～25	グループワーク // 実践
26～27	基礎学力を高める② (口語体と文語体)
28～29	グループディスカッション
30	まとめ

### 3. 評価方法

課題提出 (70%) 出席状況、授業の取り組み状況および態度と意欲 (30%)

### 4. 実務経験の有無

あり (資格・職種 : キャリアコンサルタント、キャリアサポーター)

科目名	就職指導	担当者	山下 和子	クラス	期別
				3NT	通年

### 1. 教育目標

- ① 将来について真剣に考える機会とする。
- ② 自身に合った就職活動を行えるよう、自己の価値観や強みを明確にする。
- ③ 自分の進路を決定する。

### 2. 授業内容

就職を希望する種別研究を行うとともに、就職フェア等へ参加し情報を収集する。履歴書を作成する中で、自己分析を行い自己PRを作成し、志望動機を明確にしていく。

### 3. 授業計画

1	ガイダンス 「就職」とは何か。仕事、社会人について考える
2	保育業界の職種について、求人票の見方
3	自主実習について 身だしなみ（履歴書写真撮影）
4	保育園就職フェアに向けて 言葉遣い、挨拶、マナーについて
5	自己分析 ～過去を振り返り、今を見つめる～
6～7	卒業生講話
8～9	保育園就職フェア
10	自己PR、志望動機について
11～12	履歴書作成
13～15	面接練習

### 4. 評価方法

授業への積極的参加（30%） レポート、課題（70%）

### 5. テキスト及び参考書

授業中、資料を配布する

### 6. 実務経験の有無

- あり （ 資格 : 小学校教諭一種、保育士 ）  
（ 実務 : 小学校教員 ）

科目名	実習指導②	担当者	中山 八保子	クラス	期別
				こどもみらい科3年	通年

### 1. 教育目標

保育実習Ⅰ（保育）を通して学んだ技術と理論、その他の教科で学習した内容を基礎に、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅱに向けた準備を行う。

保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。さらに、家庭と地域の生活実態に触れ、子育てを支援するために必要とされる能力、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、福祉の視点を持った保育士養成を目標とする。

### 2. 授業内容

施設実習での養護についての専門的な理解と技術を学び、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解のもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。

児童理解を深め、施設保育士の役割を踏まえた実践に努める。

保育実習Ⅱでは、保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。

### 3. 授業計画

1	児童福祉施設の社会的役割と施設保育士の役割
2	養護内容・方法の理解
3	実習日誌指導、ケース発表・シミュレーション準備
4	ケース発表・シミュレーション準備
5	ケース発表、実習前最終チェック（Ⅰ）
6	児童福祉施設における利用児・者と家庭支援の理解／保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等の実践と理解（部分実習、全日実習）
7	事例研究／指導計画作成
8	実習日誌指導
9	実習前最終チェック（Ⅱ）
10	実習振り返り（保育士としての自己課題の明確化）

### 4. 評価方法

授業態度、授業の取り組み（30%）、実習日誌などの提出物（30%）、実習施設の評価（40%）

### 5. テキスト及び参考書

石橋裕子・林幸範著「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」同文書院  
実習のしおり

厚生労働省「保育所保育指針解説書」

文部科学省「幼稚園教育要領解説」

### 6. 実務経験の有無

- あり （ 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許 ）  
（ 実務経験：保育所、児童発達支援センター、児童養護施設 ）



科 目 名	保育 インターンシップ実習	担 当 者	山下 和子	ク ラ ス	期 別
				3NT	通 年

## 1. 教育目標

「インターンシップ実習」は、「自分の未来を決める」就職活動のための自主的な実習である。保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習での実践を通して学んだ技術と理論を基盤として、保育士、幼稚園教諭として必要な資質、能力、技術を習得し、自分の進路を決定する。

## 2. 授業内容

「インターンシップ実習」では、保育所その他児童養護施設、幼稚園、障害者施設など保育士、幼稚園教諭の資格を生かせるすべての実習先を対象に、自分自身で選択し、1～3日間で実習を行う。（実習施設の数は問わず、トータル10日間）現場での専門的な理解と技術を学び、専門職としての自覚を高める。

## 3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	参加実習 ・担当者の指導のもとに積極的に参加する。 ・幼稚園、保育所では、手遊び・絵本の読み聞かせ・部分実習の実践 ・保育所以外での児童養護施設、障害者施設では、利用者・児の生活援助、職員の仕事の把握、児童と職員の関係と援助技術の学習

※できれば実習終了後に履歴書を提出する。

## 4. 評価方法

・インターンシップ実習報告書と出席状況を見て、全体評価を行う。

## 5. 実務経験の有無

- あり （ 資格 : 小学校教諭一種、保育士資格 ）  
 （ 実務 : 小学校教員 ）

科目名	就職指導Ⅱ	担当者	山下 和子	クラス	期別
				3NT	通年

## 1. 教育目標

就職活動は、「自分の未来を決める」活動であるが、その気持ちを失いかけた時、改めて自分の価値観と真剣に向き合うことが大切である。自分らしさが発揮できる進路が見いだせるようにする。

## 2. 授業内容

幼稚園教諭二種免許、保育士資格取得のための実践の場として単位実習が行われるが、何らかの理由で実習に行けなかったもしくは実習中止になった場合、「就職指導Ⅱ」として登校し、学ぶ場である。この期間にしっかりと内省を行い、また、考える力、読み書きできる力を身につけ、自分の進路を決定する。

## 3. 授業計画

1	新聞「天声人語」もしくは「春秋」書き写し、感想
2	内省 ～自分の心と向き合い、自分の考えや言動について省みる～ 幼少期から振り返る
3	自己課題の明確化
4	面談
5	サブツール製作

※毎日、午前中は新聞書き写し、内省、午後はサブツールを中心とした製作活動  
初日と最終日、必要に応じて面談を行う。

## 4. 評価方法

課題、レポート提出（70%） 出席状況、課題の取り組み姿勢（30%）

## 5. テキスト及び参考書

必要に応じて資料を配布する。

## 6. 実務経験の有無

- あり （ 資格 : 小学校教諭一種免許、保育士 ）  
（ 実務 : 小学校教員 ）